

第4 目指す未来

1. まちの将来像

小さな中頓別の しあわせをデザインする

高齢者人口が近いうちに減少する方向に転じ、人口減少がさらに進む時代となり、ますます小さな町になってしまいます。それでも町民一人ひとりの参加と協働により、あたたかな、安心して、充実した暮らしのある、豊かさと楽しさを生みだすまちになることを目指すため、これを本計画のキャッチフレーズとします。

小さなまちの あたたかなつながり、 安全安心な暮らし

豊かな自然と共存するまちには、仲の良い人間関係、安心な生活、災害の少ない安全な暮らしがあります。

人口減少時代に対応 してきた知恵と経験

これまでも、町民と行政が協働し、時代の変化や課題に柔軟に対応してきた経験や知恵があります。

参加や協働によって、 豊かさと楽しさを生みだす縮充

「縮充（しゅくじゅう）」は人口減少が進むこれからの時代の、人々の参加と協働による、あたたかで充実した暮らしのあるまちに向けて充てた言葉です。参加と協働により次の10年のまちづくりを進めます。

きく、はなす、まなぶ、 やってみる

10年後の未来に向けて、町民ひとりひとりが、お互いの声をきき、対話を通し

て学び、様々なチャレンジをやってみることを大切に、持続可能なまちづくりを目指します。

2. 人口フレーム

令和2年3月31日にまとめた人口ビジョン令和2年改訂版「総人口の長期的見通し」では、2015年国勢調査の総人口1,757人を基準年に人口推計を算出したときに、社人研推計では2020年に1,543人としていたため、町独自により緩やかな人口減少を予測した推計ケースは1,578人としました。2020年国勢調査の速報値は1,638人となり、結果として60人の人口減少を抑えられたかたちとなりました。

10年後となる2030年（令和12年国勢調査）の町独自の人口予測は1,306人としたため、この予測値を下回らないよう人口減少の抑制を図ります。

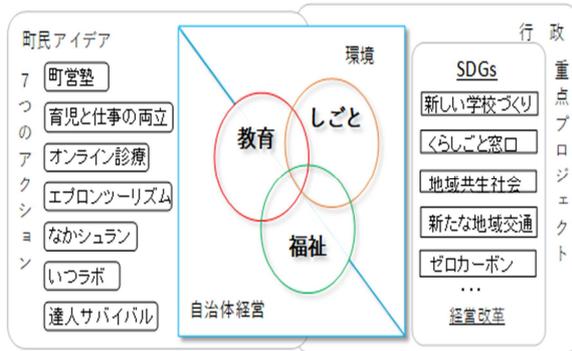
3. まちづくりの基本的考え方

これまで中頓別町が守り育ててきた豊かな自然といった環境基本計画に関連する環境の取り組みと、町民との協働を進める自治体経営を土台に、教育、しごと、福祉の3つの分野を柱としてまちづくりを進めます。

また、プロジェクトとして、町民アイデアによる7つのアクションと、行政主導による重点プロジェクトを展開します。

さらにSDGsについて、2015年9月に国連で採択されて、目標達成とする2030年まで残り3分の2の期間となりました。

本町においてもSDGsに掲げられている17の目標（ゴール）について、第8期総合計画のなかで、政策・施策と関連した取り組みを進めていきます。



目標2：子どもたちがいずれはまちに戻りたいと思える気持ちを育むまちづくりを目指します

目標3：大人も一緒に学べるまちづくり

しごと「資源を承継し新しい産業や働き方を生み出すまち」

目標1：今ある資源を承継し新しい仕事をつくるまちづくりを目指します

目標2：多様な働き方と暮らし方が選択できるまちづくりを目指します

福祉「誰もが健康で安心して暮らせるまち」

目標1：末長く安心して暮らせるまちづくりを目指します

目標2：いくつになっても健康でいつまでも元気にいられるまちづくりを目指します

目標3：安全で快適な生活ができるまちづくりを目指します



1) 政策目標

3つの柱

教育「将来を生きる力を育むまち」

目標1：幼小中を通して生きる力を育むまちづくりを目指します

2つの土台

環境「美しい自然を守り共生するまち」

目標1：ふるさとの自然に誇りが持てるまちづくりを目指します

自治体経営「持続可能なまちづくり」

目標1：町民が主役のまちづくりを目指します

目標2：創造的な自治体改革と健全な行政改革を目指します

2) 町民アイデア「7つのアクション」

計画づくりに向けた町民ワークショップ「暮らしのアイデア放送部」の中で、町民活動による「7つのアクション」が生まれました。

それぞれのアクションは、教育、仕事、福祉などのテーマを背景に、中頓別で暮らし上での人生の分岐点を楽しく乗り越えることを目指しています。

「7つのアクション」は、町民を主体に行政と連携して進めていきます。

①町営塾づくり



〈テーマ〉学びの場づくり

〈取り組み〉

- ・学習だけでなく生きる力や将来のキャリアについて子どもたちと一緒に考えられる町営塾づくりを目指す。
- ・町営塾は中高生を主な対象に、大人も参加できる場づくりに取り組む。

②オンライン診療デビュー



〈テーマ〉遠隔診療

子育て環境の充実

〈取り組み〉

- ・遠隔診療のコツやノウハウを発信し、ICTを活用しながら生活しやすい環境づくりを目指す。

③育児と仕事の両立



〈テーマ〉子育てと仕事の両立
働き方改革

〈取り組み〉

- ・子育てと仕事を両立するアイデアを発信し、子育てしやすい環境と働きやすい環境づくりを目指す。

④エプロンツーリズム



〈テーマ〉観光体験・特産品づくり

食の観光

〈取り組み〉

- ・ツアーで使用する道具をいれるエプロンをユニフォームとして、地域の食資源をめぐる企画を実施することで、地域の魅力を体験できる機会をつくる。
- ・ブドウや山菜などの地域の農産物を使った特産品づくりを目指す。

⑤なかシュラン



〈テーマ〉事業承継

商店活性

〈取り組み〉

- ・地域に愛されているのにも関わらず後継者のいない店舗や事業者の魅力を発信し、事業を承継したい人とのマッチングを目指す。

⑥ サバイバルの達人



〈テーマ〉生涯学習・都市交流
ふるさと教育

〈取り組み〉

- ・豊かな自然の中であそぶ知恵を地域の方々から収集し、発信するとともに、地域内外の人が体験できる機会をつくる。都市部の野外活動に関心ある方と交流する機会を創造する。

⑦ いつできるのラボラトリー「いつラボ」



〈テーマ〉生涯学習
福祉施設との交流

〈取り組み〉

- ・地域の困りごとをものづくりで解決するコミュニティづくりを目指す。
- ・つくることを通して、地域のつながりづくりに取り組む。
- ・福祉施設利用者との交流を深める。

3) 行政主導の「重点プロジェクト」

役場内の一つの課（室）だけでは解決や推進ができない課題となる取り組みが各分野にあります。そういった取り組みの洗い出しにより、関係課（室）の連携体制（つながり）をきちんと構築し、この10年間で課題解決できるよう、重点プロジェクトとして推進します。

本計画策定段階で、実施が想定される取組は次のとおりです。

① SDGs

本計画の政策・施策と関連した取組を推進します

② 新しい学校づくり

中学校の改築と、幼少中一貫の教育機会を提供する体制づくりを構築します

③ 暮らしと仕事の相談窓口

町内での暮らし方と働き方の一元化した情報提供と、そのサポート体制を構築します

④ 地域共生社会

安心できる医療体制の提供と福祉施設との連携体制を構築します

⑤ 新たな交通体系構築とシェアリングエコノミー

新たな地域交通の提供体制構築と、町民共助によるライドシェアを推進します

⑥ ゼロカーボン

CO2 排出量の削減など、地球温暖化防止対策の積極的な展開を推進します

⑦ 情報化

デジタル・トランスフォーメーションや、スマート農業など ICT を推進します

⑧ 地方創生の推進

第2期中頓別町総合戦略に基づき、諸課題解決に向けて推進します

⑨ 防災拠点の機能を有する多機能型コミュニティ施設

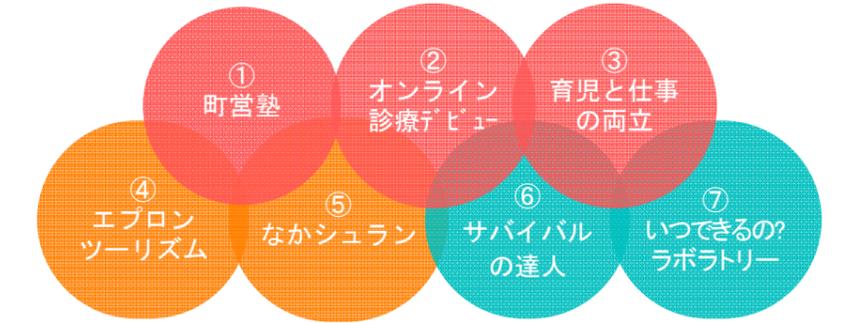
万一の災害に備えた避難所機能を有する多機能型の防災拠点を整備します

第8期中頓別町総合計画の体系一覧 ※環境・自治体経営を“土台”に、教育・しごと・福祉の3つの分野を“柱”としてまちづくりに取り組みます。

政策目標		施策目標
教育 将来を生きる力を育むまち	幼小中を通して生きる力を育むまちづくり	(1)あそびや生活の中で生きる力、探求心・好奇心を育む幼児教育の充実 (2)自ら学び自ら考える力を育てる学校教育の充実
	子どもたちがいずれはまちに戻りたいと思える気持ちを育むまちづくり	(1)自分らしい生き方を実現するキャリア教育の推進 (2)特色ある教育活動の推進
	大人も一緒に学べるまちづくり	(1)生涯教育の推進 (2)いくつになっても楽しく参加できる文化・スポーツ活動の推進
しごと 資源を承継し新しい産業や働き方を生み出すまち	今ある資源を承継し新しい仕事をつくるまちづくり	(1)地域特性を活かした新たな産業振興の推進 (2)森林資源の循環利用の推進 (3)まちが元気になれる商工業の振興 (4)ローカルな暮らしや自然を楽しむ観光の推進 (5)誰でもいつでもチャレンジできる環境づくりの推進 (6)6次産業化の推進
	多様な働き方と暮らし方が選べるまちづくり	(1)多様で柔軟な働き方ができる環境づくりの推進 (2)新たな情報通信社会の導入実現に向けた技術の活用 (3)自然と調和する住環境整備し、人口減少対策の推進
福祉 誰もが健康で安心して暮らせるまち	末長く安心して暮らせるまちづくり	(1)将来にわたり安心できる医療体制の充実 (2)安心して子どもを産み育てられる環境の整備 (3)誰もが安心して暮らせる地域共生社会の実現 (4)障がい支援と心のなやみサポートの推進 (5)男女共同参画の推進
	いくつになっても健康でいつまでも元気にいられるまちづくり	(1)生涯を通じた楽しく学べる健康づくりの推進
	安全で快適な生活ができるまちづくり	(1)町民生活の防犯と交通安全の推進 (2)心地よい住まい確保の推進 (3)安心な上下水道の推進 (4)安全な道路網整備 (5)地域交通確保の推進 (6)災害や火災に強いまちづくりの推進
環境 美しい自然を守り共生するまち		自治体経営 持続可能なまちづくり
ふるさとの自然に誇りが持てるまちづくり	町民が主役のまちづくり	創造的な自治体改革と健全な行政改革
(1)美しい自然を守り後世に伝える環境づくりの推進 (2)ふるさとの自然に誇りをもてる環境教育の推進 (3)廃棄物を減らし循環する環境づくりの推進 (4)自然と調和した景観・街並づくりの推進	(1)地域振興の推進 (2)町民活動の活性化	(1)行政改革(デジタル・トランスフォーメーション化)の推進 (2)持続可能で健全な財政運営 (3)広域連携の推進

◎7つのアクション

このアクションは、教育、しごと、福祉のテーマを背景に、中頓別で暮らすうえでの人生の分岐点を楽しく乗り越えることを目指して、町民を主体に行政と連携して進めていきます。



◎重点プロジェクト

役場関係課・室の連携体制をきちんと構築し、この10年間で課題解決が急がれる取り組みを、重点プロジェクトと位置づけ推進します。

①SDGs

17の目標に関連した総合計画に掲げる政策・施策に取組み、適宜達成する

1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任つかう責任
13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさを守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナーシップで目標を達成しよう	

②新しい学校づくり

中学校の改築と、幼少中一貫の教育機会を提供体制を構築する

③くらしとしごとの相談窓口

町内での暮らし方と働き方の一元化した情報提供とサポート体制を構築する

④地域共生社会

安心できる医療体制の提供と福祉施設との連携体制を構築する

⑤新たな交通体系構築とシェアリングエコノミー

新たな地域交通の提供体制構築と、町民共助のライドシェアを推進する

⑥ゼロカーボン

CO2排出量の削減など、地球温暖化防止対策の積極的に推進する

⑦情報化

デジタル・トランスフォーメーションや、スマート農業などICTを推進する

⑧地方創生の推進

第2期中頓別町総合戦略に基づき諸課題解決に向けて推進する

⑨防災拠点の機能を有する多機能型コミュニティ施設

災害に備えた避難所機能を有する多機能型の防災拠点を整備する

4) 施策体系別の目標（基本方針）

第8期総合計画で掲げる政策目標を達成するため、様々な事務事業を実施していくこととなります。ここでは第7期計画期間中での取り組み実績と課題を振り返り、第8期計画として施策別に基本方針を整理し、取り組みとなる主な事務事業を掲げています。

<第7期計画期間での実績・課題>

①なかとん人生のスタート、

なかとんの自然と暮らし

＼現状と課題／

環境保全と資源の循環

頓別川の保全や生態系を把握し守る活動を実施しています。また、森林資源を活用した再生可能エネルギーの導入に向けた検討も行っています。

野生鳥獣対策は、ハンターの養成や施設整備などを行い、エゾシカやアライグマの被害から農業を守る活動をしています。一方、捕獲したエゾシカについてその多くは処分せざるを得ない現状があります。捕獲したエゾシカを加工するなど、いのちを循環させていく取り組みが課題です。

自然と調和した暮らし

やすいまち

安全性も考慮して、廃屋や看板などの除却を所有者にはたらきかけたり、町内の調和のとれた景観づくりを行っています。

また、町民の有志と連携し花とみどりのまちづくりを継続することで、町内の環境美化向上に努めています。

＼取り組み／

ふるさとの自然に誇りが持てるまち

美しい自然を守り
後世に伝える
環境づくり

ふるさとの自然
に誇りを持てる
環境教育

廃棄物を減らし
循環する
環境づくり

自然と調和した
景観・街並みづ
くり

＼現状と課題／

安全安心なまち

消防救急に関しては、消防車両の計画的な更新や消防救急無線のデジタル化を実施しました。

また、防災体制を向上するため、防災計画の見直すとともにハザードマップを更新しました。さらに個別無線機を町内へ配付し、防災情報を迅速に発信できる体制を整えました。

今後は感染症対策に努めて町民参加の防災訓練の実施に取り組まなければなりません。

＼取り組み／

末長く安心して暮らせるまち

災害や火災に
強いまちづくり

＼現状と課題／

安全で快適な生活環境づくり

町内の防犯と交通安全の推進、町道、水道施設、下水道処理施設の維持管理や運営を行い、住民生活の向上と快適な生活環境づくりを進めています。

＼取り組み／

安全で快適な生活ができるまち

町民生活の
防犯と交通安全

安全な
道路網整備

安心な
上下水道

＼現状と課題／

創造的な自治体改革と 健全な行政改革

働き方改革なども行い、さらなる町民サービスの充実と健全な行政運営を実施します。

＼取り組み／

創造的な自治体改革と健全な行政改革

行政改革
(DX化)

持続可能で
健全な財政運営

②こども園に入園

＼現状と課題／

子育てしやすい環境

認定こども園を中心に、子どもたちが健康で安心して育ち学ぶための保育教育活動を展開しています。認定こども園は、保育料、給食費を無料化することで、こども園を利用しながら、子育てしやすい環境づくりを進めています。

幼児期の自然体験や英語教育

「森のこども園」本格運用により野外で五感を使って遊び、生きる力の基礎を育む自然体験活動を実施したり、ネイティブスピーカーとの生活会話から英語に親しむ英語教育を実施しています。

幼児期の学びや経験を その先につなげる

一方、幼児期の自然体験について、その先の学校教育との密接な連動が少ないことは課題です。

幼児期の経験や学びをどのように学校の教育プログラムとしてつなげていくのか、そのために必要な幼児期の保育や教

育はどのようなものか。今後も経験を重ねながら幼小中連携の教育プログラムの構築を推進します。

＼取り組み／

幼少中を通じて生きる力を育むまち

あそびや生活の中
でいきる力、探求
心・好奇心を育む
幼児教育の充実

末長く安心して暮らせるまち

安心して
子どもを産み育
てる環境の整備

③小学校・中学校に通う

＼現状と課題／

子どもたちが学ぶ環境 のリニューアル

中学校校舎や体育館の老朽化やまちの図書室スペースの不足など、子どもたちの学びや身体づくりを支えるハード面の環境が課題です。中学校校舎が建て替えの必要な時期にあることから、小学校等の他の教育施設も併せた一体的なリニューアルが求められています。

ICTを活用して過疎地 の教育課題をのりこえる

過疎地での課題解決を図るためICTによる学習の充実も求められています。小中学校ではGIGAスクール[※]構想により、1人1台の機器が貸与されました。

今後は、ICTを活用した学習プログラムなど運用面の充実を進めるとともに全世代が学べる環境づくりが求められています。

小中学生の学びの場づくり

放課後の取り組みには、各種体験活動や見守り活動を行う「放課後子どもプラン」や、学校授業以外での学習面のサポートを行う、「なかとん学習塾」があります。現在の「なかとん学習塾」は、対象が小学校4～6年生に限定されており、その先の学力や将来のキャリア形成のサポートの場づくりを求める声があります。その方法として、中学生、さらには高校生も対象となる町営塾づくりが求められています。

＼取り組み／

幼少中を通じて生きる力を育むまち

自ら学び自ら考える力を育てる
学校教育の充実

子どもたちがいずれはまちに
戻りたいと思える気持ちを育むまち

特色ある
教育活動

大人も一緒に学べるまち

生涯教育の
推進

④15歳の進路選択（中学卒業後）

＼現状と課題／

ロールモデル※に出会う 機会をつくろう

15歳の中学卒業時に自宅から通える学校に進学するか、町外の学校に進学する

か進路の選択を迎えます。

現状では、それまでに将来こうなりたいと思うロールモデルに出会う機会が少なく、将来にわたって地域で暮らし続けるイメージを持つのが難しい傾向にあります。

ふるさとについて知ってる？

10代中頃の時期は地域活動に関わる機会が少なく、まちのことをあまり知らなかったり、家族や友達以外とつながりをつくらないまま、進学で町を離れてしまうことがあります。

＼取り組み／

子どもたちがいずれはまちに
戻りたいと思える気持ちを育むまち

自分らしい
生き方を実現する
キャリア教育

⑤地元の高校へ進学

＼現状と課題／

高校に進学すると地域とは疎遠に

高校に進学すると、学校という地域のコミュニティとは離れてしまいます。また、新しい友達ができたり、部活動に参加したり、様々な学びや出会いの機会が広がります。一方、通学に時間がかかったり、学業や部活動などで、地域に関わる機会は減る傾向にあります。

地域での学びの場

そのため放課後や土日、長期休業期間など学校以外の時間で地域に関わり、将来のキャリアについて学ぶことのできる場が求められています。

多様な人々との交流

また地域の活動に参加したり、ICTを

活用して町外の人とつながるなど、様々な生き方をしている同世代や大人たちとの交流を通して生き方を学べる環境づくりが求められています。

＼取り組み／

子どもたちがいずれはまちに
戻りたいと思える気持ちを育むまち

自分らしい
生き方を実現する
キャリア教育

大人も一緒に学べるまち

生涯教育の
推進

⑥ 高校卒業後の進路選択

＼現状と課題／

多様な働き方ができる ことを伝えたい

まちには起業する人、IT で在宅ワークする人、複数の事業をする人など、多様な働き方をしている人たちがいます。

しかし、そのような働き方ができることは、子どもたちにはあまり知られていません。

将来のキャリアの選択を サポートする

進路の選択の時期までに、ふるさとについて知った上で、将来のキャリアについて、対話し、考え、選択することをサポートする場やプログラムの充実が求められています。学力だけでなく、生き方を学ぶことができる町営塾の設立が期待されています。

＼取り組み／

子どもたちがいずれはまちに
戻りたいと思える気持ちを育むまち

自分らしい
生き方を実現する
キャリア教育

⑦ I・Uターン

＼現状と課題／

仕事と住まいをみつける

移住の際、仕事や住まいや情報はとても大切です。中頓別町版ハローワークとなる無料職業紹介所を設置し、移住生活に関わる住まいと就労の情報を一元化して提供する「くらしとしごとの相談窓口」を設置しています。また住まいに関しては、役場でも情報提供を行っています。

観光と移住の間の滞在

移住体験住宅を活用し、お試しで地域に暮らすような滞在を可能とすることで、移住定住につなげる取り組みを実施しています。移住体験住宅や空き住宅等を活用したおためし暮らしを継続するとともに、今後はICT環境やコワーキングスペース*等の設備を充実させ、都市部からのワーケーション**や2拠点居住の促進を図ることも求められています。

＼取り組み／

多様な働き方と暮らし方が選択できるまち

自然と調和する
ジュ環境を整備
し、人口減速対
策の推進

安全で快適な生活ができるまち

心地よい
住まいの確保

⑧地元で働く！選択肢は自分でも つくれる

＼現状と課題／

まちの基幹産業である酪農

新規就農者の確保や後継者の育成のため、体験研修の受け入れや補助金の充実などを実施しており、一定の成果がでています。また法人牧場が開設され、最新のロボット搾乳機械が導入されるなどスマート農業の推進による省力化が図られています。

今後は、酪農ヘルパーの充実など、就農者が働きやすい環境づくりや、ICTの整備により、時代の変化にあわせた働き方ができる環境づくりが求められています。

牛乳とワインづくり

6次産業化や地産地消の取り組みとして、なかとん牛乳を製造して販売を行うとともに、学校給食の提供による地産地消やふるさと納税返礼品としての活用をしています。

醸造用ぶどうの試験栽培を開始し、生育はおおむね順調です。将来的には、中頓別のぶどうを使用したワインの生産を目指して取り組みを進めます。

林業の森林資源活用

民有林の機能活性化のための支援や町有林を整備することで、災害を防ぐとともに、森林や河川の自然環境を保全しています。

また、公共施設を中心に木質バイオマスボイラーを導入し、森林資源の循環活用を進めています。今後は、さらなる推進と普及を図り、環境に配慮したライフスタイルを提案するとともに、新たな仕事をつくりだすことが期待されています。また、子どもたちに森の大切さや林業の仕事を伝えていくことで、次世代の

担い手づくりが求められています。

暮らしや自然を楽しむ観光

観光まちづくりビューローを設立し、自然や文化歴史体験、ピンネシリ地区を拠点とする観光施設の運営など地域の魅力を活かした観光まちづくりを進めています。いくつかの観光施設は老朽化もみられるため、今後の運用方法や更新の検討が課題です。

商工業の事業承継や起業

近年は若い世代を中心とした、町内商店の承継や飲食店の起業が生まれています。今後も商工会とも連携しながら、チャレンジしたい意欲のある人を応援し、後継者のいない事業の承継や空き店舗の活用を進めていくことが求められています。

＼取り組み／

今ある資源を継承し新しい仕事をつくるまち

地域特性を活かした新たな産業振興の推進

森林資源の循環利用の推進

まちが元気になれる商工業の振興

ローカルな暮らしや自然を楽しむ観光の推進

誰でもいつでもチャレンジできる環境づくりの推進

6次産業化の推進

⑨誘ってくれる友達がいる

＼現状と課題／

同世代の友達は都市部へ

高校卒業後は都市部に進学、就職する人の割合が多いため、地元と同世代の友達が少ない傾向があります。地元で友達が少ないと、せっかく地元での生き方を選択しても、寂しさから定住することが難しくなることもあります。

そのため、地元に移住してきた同世代の友達をつくったり、職種や世代をこえて友達をつくる場づくりが求められています。

誘ってくれる友達がいるまち

移住者の方に話をきくと、初めはまちに知り合いがいなかったが、まちの人が遊びや地域の集まりに誘ってくれることで、寂しくなかったという声を多く聞きます。誘ってくれる人がいるというのは、まちの資源であり魅力です。

若い世代や移住者にとって、地域に誘ってくれる友達がいるかどうかことは、地域で暮らし続けるための重要な要素になります。

町民活動をさらに活性化し、多様な人々との交流を促し、地域に楽しく活動に参加できる場を増やすことが求められています。

＼取り組み／

大人も一緒に学べるまち

生涯教育の
推進

文化
スポーツ
の推進

町民が主役のまち

地域振興
の推進

町民活動の
活性化

⑩子育て中のママ友と寿公園でおしゃべり

結婚・出産・子育て

＼現状と課題／

職種や地域をこえた

つながりも大事

地域に同世代のつながりが少ないことが課題です。まちでは職種や地域を超えた交流機会を設ける取り組みも実施しており、将来のパートナー探しの活動を支援しています。

安心して子どもを産み育てたい

子どもが生まれるときに、出生祝い金の贈呈や出産費用の助成などを行っています。産婦人科が遠いことが課題ですが、なかとんネウボラホットラインを設置して24時間相談できる体制をつくったり、健診等に必要な交通費の一部を助成しています。

また、満18歳までの子どもたちの医療費無料化など様々な支援があります。医療に関しては、小児科のある病院が遠いことが課題であり、特に冬季などはICTを活用した遠隔診療の活用が求められています。

楽しく子育てしたい

有志の町民同士で育児の支援を行うファミリーサポートの取り組みも実施しており、休日やこども園の時間外など子どもをみてもらうことができます。しかし、自分の活動や趣味のために利用することに遠慮を感じる人も多く、気軽に利用して、子育て中の親が時々リラックス

スできるしくみづくりが課題です。

障がいのあるなしをこえた 交流の機会をつくりたい

障がいのある人とない人が出会い、お互いのことを知り、相互の理解を深めることのできる機会が少ないことが課題です。

今まで以上に交流する機会を深め、共助のしくみづくりが大切です。

＼取り組み／

末長く安心して暮らせるまち

安心して子どもを産み育てられる環境の整備

誰もが安心して暮らせる地域共生社会の実現

障がい支援と心のなやみサポートの推進

将来にわたり安心できる医療体制の充実

⑪地元で働く!!多様な働き方がある

＼現状と課題／

ICT環境の整備

市街地周辺の農村部ではICT環境の整備が整っていないため、全町内でのICT環境の整備が進められています。

また、これを機に町外からの2拠点居住者やワーケーションの誘致も期待されています。

仕事と子育てが両立しやすい環境づくり

共働き世帯が多く、子育て世代が仕事と子育てがしやすい環境づくりが求められています。子育てのサポートの充実を図るだけでなく、働き方の選択肢を増やし、地域や職場の子育てと仕事に関する意識を変えていくことも必要です。ICT

を活用した新しい働き方の実現や、男性の育児への参加がしやすい環境づくりが課題です。

＼取り組み／

多様な働き方と暮らし方が選択できるまち

多様で柔軟な働き方ができる環境づくりの推進

新たな情報通信社会の導入実現に向けた技術の活用

自然と調和する住環境整備し、人口減少対策の推進

末長く安心して暮らせるまち

男女共同参画の推進

⑫地元で楽しみがある？

＼現状と課題／

何かやってみたい人が気軽に参加できる場

仕事の自由度が高くなり、子育ても落ち着いた頃、地域で暮らし続ける動機として、地元には楽しみがあり、友達がいるかどうかは大切です。

そのため、地元で楽しみをみつけ、楽しみを通してつながりをつくることのできる機会づくりが求められています。

しかし、現状では何かをやってみたいと思っても、気軽に参加できる場が少なく、個人間のつながりに委ねられていることが課題です。

今後は社会参加の場を増やし、何かをやってみたい人同士が交流できる場を増やすことが求められています。

＼取り組み／

いくつになっても健康でいつまでも
元気にいられるまち

生涯を通じ
た楽しく学
べる健康づ
くりの推進

町民が主役のまち

地域振興
の推進

町民活動の
活性化

⑬車の運転が不安に・・・買い物や病院 どうしよう

＼現状と課題／

地域の交通が生活の鍵

冬季の外出や買い物や病院への移動など公共交通機関や車での移動が欠かせません。生活交通の確保のため、バス関連施設の維持やタクシーチケットの交付を行ってきました。バス交通の維持は今後の課題となっています。

また、条件を満たす満60歳以上の人の町立病院への送迎も実施しています。

さらに、地方創生の取り組みとして、ライドシェアの取り組みも行っていますが、担い手も利用者もまだ十分ではありません。普及のためには、担い手の確保と利用者のスマートフォンでのアプリ操作が課題となっています。

＼取り組み／

安全で快適な生活ができるまち

地域交通
確保の
推進

⑭子どもの家族が遊びにきた、

＼現状と課題／

自宅で暮らし続ける選択肢

地域には老人ホームがあり、生活のサポートが必要になっても安心して暮らすことができます。一方で、生活のサポートが必要になっても自宅で暮らし続けるための医療福祉サービスは資源が整っておらず、住まい方の選択肢が少ないことが課題です。

これからの医療福祉の体制

地域共生社会の推進のため、新たな医療体制について関係機関と協議を重ね、町立病院を医療と介護を一体的に提供できる介護医療院を併設する町立病院へのリニューアルを目指しています。

常勤医師2名体制を維持し、今後も安心な医療体制を構築することが求められています。

すこしやすいまちへ

障がいのあるなしに関わらず、安心して暮らせるまちを目指します。

施設利用者への支援体制のさらなる充実を図るとともに、肢体不自由な方が安心して暮らすことのできる地域社会実現のための各種サポートを推進します。

＼取り組み／

末長く安心して暮らせるまち

将来にわたり
安心できる医
療体制の
充実

誰もが安心し
て暮らせる地
域共生社会
の実現

障がい支援と
心のなやみ
サポートの
推進

⑮ 住み慣れた自宅で暮らす

＼現状と課題／

住まい方の選択肢を増やしたい

現状では、生活のサポートが必要になった際、訪問介護など自宅で暮らし続けるための必要な福祉サービスが不足していることが課題です。

元気なうちから準備をする

しかし、小さなまちの良さとして、地域には仲の良い人間関係があります。

今後はICT等も活用した公的なサービスを充実させるとともに、地域の支え合いの力を借りながら、少しでも長く自宅で暮らせる体制づくりが求められています。

そのためには、元気なうちからつながりをつくったり、健康づくりをするなど準備をしておくことが大切です。

＼取り組み／

末長く安心して暮らせるまち

将来にわたり
安心できる医
療体制の
充実

誰もが安心し
て暮らせる地
域共生社会
の実現

障がい支援と
心のなやみ
サポートの
推進

れています。

また昔のように自宅に3世代が同居し介護をすることが少なくなったため、若い人が介護のことを知らないという課題もあります。施設と地域の交流を促すことで、若い世代と高齢者の交流を図っていくことも求められています。

＼取り組み／

末長く安心して暮らせるまち

将来にわたり
安心できる医
療体制の
充実

誰もが安心し
て暮らせる地
域共生社会
の実現

障がい支援と
心のなやみ
サポートの
推進

⑯ 安心な長寿園で暮らす

＼現状と課題／

安心な暮らしを維持するために

特別養護老人ホームの施設改修を補助するなど環境の充実を図っています。安心な暮らしを守るサービスを維持するために、継続的な介護人材の確保が求めら

<第8期計画の施策体系別基本方針>

教育 将来を生きる力を育むまち

1. 幼小中を通して生きる力を育む まちづくり

(1) あそびや生活の中で生きる力、探求心・ 好奇心を育む幼児教育の充実

幼小中一貫とする隙間のない教育の機会を確保し、教育機関が連携できる環境をつくります。



\ 取り組みとなる主な事務事業 /

- ・認定こども園事業
- ・地域子育て支援センター事業
- ・こどもセンター事業

(2) 自ら学び自ら考える力を育てる 学校教育の充実

新しい校舎づくりと運営体制を整えるため、その学習機会を提供する土台づくりとなる施設整備をしっかりと推進します。



<取り組みとなる主な事務事業>

- ・教育研究指定校委託事業
- ・教職員健康診断委託事業
- ・教育研究会運営事業
- ・特別支援教育連携協議会運営事業
- ・就学奨励事業
- ・小学校教育振興事業
- ・中学校教育振興事業
- ・中学校改築等推進事業

2. 子どもたちがいずれはまちに戻ってきた と思える気持ちを育てるまちづくり

(1) 自分らしい生き方を実現するキャリア 教育の推進

子どもたちが将来社会人になるときにこの町で暮らしたいと考えてもらえるよう、ふるさと教育の提供に努めるとともに、現児童生徒が卒業生と交流し、どんな社会人を目指せるように考えられる機会の提供づくりを目指します。

また、新しい学校づくりと連携して、どの年齢期においても生涯学習の機会をしっかりと提供できる取り組みを目指します。



<取り組みとなる主な事務事業>

- ・学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業
- ・青少年健全育成事業
- ・社会教育推進事業【再掲】

(2) 特色ある教育活動の推進

外国語の学力向上を目指すため、資格検定受検者をサポートするとともに、外国文化との交流を推進するための機会提供に努め、よその自治体にはない教育環境を整えます。



<取り組みとなる主な事務事業>

- ・外国青年招致事業
- ・英語力育成事業
- ・学習習慣育成事業補助事業
- ・学校給食事業（給食費無料）

3. 大人も一緒に学べるまちづくり

(1) 生涯教育の推進

全ての町民がいくつになっても学習をする機会を確保し、異世代交流などによる生涯学習を推進します。



＜取り組みとなる主な事務事業＞

- ・生涯学習推進事業
- ・社会教育推進事業
- ・なかとんべつ子ども読書プラン事業
- ・文化財保護事業
- ・社会教育関連施設運営業務

(2) いくつになっても楽しく参加できる文化・スポーツ活動の推進

優れた芸術鑑賞の機会提供と、文化団体・サークル活動の支援を図ります。町民のスポーツ振興に向けた設備環境を積極的に確保し、各年齢期が活躍できるようスポーツ団体の支援を図ります。

また、各種教室や大会等イベント開催を連携して充実を図ります。



＜取り組みとなる主な事務事業＞

- ・町民文化活動推進事業
- ・スポーツ推進事業
- ・町民各種スポーツ大会等運営事業
- ・冬季スポーツ教室等運営事業
- ・スポーツ関連施設運営業務

しごと 資源を承継し新しい産業や働き方を生み出すまち

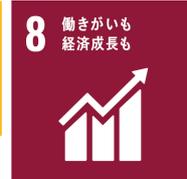
1. 今ある資源を承継し新しい仕事をつくるまちづくり

(1) 地域特性を活かした新たな産業振興の推進

本町の基本産業である酪農を支えるため様々な取り組みを進めます。新規就農対策は就農希望者の経営形態に親身な対応をすることに努めます。また、農作業

の外部委託化の推進、スマート農業の推進、酪農ヘルパー要員など酪農に携わる関係人口の確保により、農業者の労働負荷の軽減を図ります。さらに停電時や断水等の災害対応に備えた環境整備も進めます。

なかとん牛乳の活用方法の拡大に向けた検討や、醸造用ブドウの栽培の取り組みなどによる産業の複合化を目指します。



＜取り組みとなる主な事務事業＞

- ・畜産担い手育成総合整備事業
- ・中山間地域等直接支払交付金交付事業
- ・多面的機能支払交付金事業
- ・各種制度資金利子補給事業
- ・農業関係団体支援事業
- ・農業体験交流施設管理運営事業
- ・循環農業支援センター管理事業
- ・町営牧場運営事業

(2) 森林資源の循環利用の推進

森林の最適な保全と育成に努めるため、森林組合と連携を深め森林整備をさらに推進します。特に伐採期を迎えている立木の有効活用の加速化、町内での地域材（道産材）活用方法の検討及び公共施設への木材利用、森林や木材とふれあう機会を創出する木育活動を推進します。

林整備意向調査に基づき、経営管理の委託化推進のプロセスを検討します。



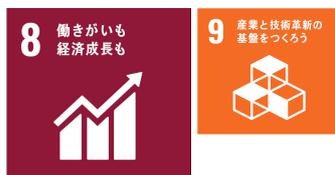
＜取り組みとなる主な事務事業＞

- ・民有林森林整備振興事業
- ・未来につなぐ森づくり推進事業
- ・森林整備担い手対策推進事業

- ・森林環境保全直接支援事業
- ・民有林森林整備振興事業補助
- ・森林整備・林業振興事業

(3) まちが元気になれる商工業の振興

町民が安心して住み続けるために、必要な買い物ができる環境を維持することは重要であり、既存事業所の事業維持に向けた支援を継続するほか、事業承継や新たな起業スタイルへの支援策について商工会や経済関係者と連携して取り組んでいきます。



<取り組みとなる主な事務事業>

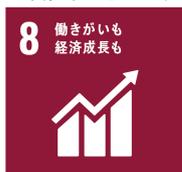
- ・商工業振興対策推進事業
- ・商工会補助事業
- ・中小企業振興資金融資事業
- ・商工業振興支援事業

(4) ローカルな暮らしや自然を楽しむ

観光の推進

観光振興計画を軸に、地域資源の有効活用により観光事業を推進し、地域経済活動の活性化、交流・関係人口や移住者の増加等、人口減少問題の一助となるよう事業を推進していきます。

また、他地域との差別化を図り、訪問の目的地となるよう既存の観光資源を多角的に活用するほか、町単独での観光事業から、周辺地域の特性を生かす広域観光を視野に入れ、地域全体での観光振興の可能性を広げていきます。



<取り組みとなる主な事務事業>

- ・観光協会運営事業

- ・観光まちづくりビューロー運営事業
- ・鍾乳洞自然ふれあい公園管理運営事業
- ・山村交流施設管理運営事業
- ・観光振興事業
- ・そうや自然学校事業【再掲】
- ・ピンネシリ温泉運営事業
- ・観光振興計画フォローアップ事業

(5) 誰でもいつでもチャレンジできる環境づくりの推進

商工会、金融関係機関と連携し、小規模の事業で起業するなど新たな起業に対する支援体制の充実を図り、地域内での起業機会を増やし、地域経済活動の活性化を推進します。



<取り組みとなる主な事務事業>

- ・雇用対策関係業務
- ・緊急雇用創出対策推進事業
- ・企業誘致推進事業

(6) 6次産業化の推進

農業体験交流施設「もうもう」を核に、農協等と連携し「なかとん牛乳」を中心に、2次加工品の開発にさらに取り組みます。



<取り組みとなる主な事務事業>

- ・牛乳等地域の生産物を活用した6次産業化の推進事業
- ・小規模多機能型ミルクプラント拠点づくり事業

2. 多様な働き方と暮らし方が選択できるまちづくり

(1) 多様で柔軟な働き方ができる

環境づくりの推進

地域の人的資源の不足から、人手不足を解消するため、業務分解、短時間労働の提供、町職員の地域でさらに貢献ができる副業・兼業のモデル的推進により、中頓別町らしい働き方の実現を目指します。



<取り組みとなる主な事務事業>

- ・働き方改革推進事業
- ・社会福祉法人資格養成助成事業
- ・奨学金等償還支援事業

(2) 新たな情報通信社会の導入実現に

向けた技術の活用

全町の光回線システムの工事は進み、高速ネットワークが実現します。

日常生活における情報技術の進歩により、在宅のままでも買い物など日常生活における不便解消が整えられるよう、個別の情報化環境向上を目指します。



<取り組みとなる主な事務事業>

- ・民放ラジオ難聴等解消事業
- ・高速ネットワーク通信環境整備推進事業
- ・地上デジタル放送施設維持管理事業
- ・IoT※推進業務

(3) 自然と調和する住環境を整備し、

人口減少対策の推進

町内における地域の働き手となる人手不足の解消と、ワーケーションの推進や、2拠点生活を積極的に推奨させて、町外からの関係人口拡大に努めます。



<取り組みとなる主な事務事業>

- ・人口減少問題対策事業
- ・移住定住促進事業

福祉 誰もが健康で安心して暮らせるまち

1. 末長く安心して暮らせるまちづくり

(1) 将来にわたり安心できる医療体制の充実

町民の皆さんが、安心して暮らすための地域医療提供体制と地域包括ケアシステムの構築を目的に新たな医療体制を整えます。



<取り組みとなる主な事務事業>

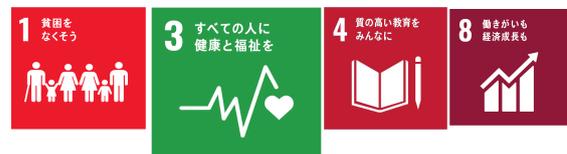
- ・介護保険事業
- ・国民健康保険病院事業
- ・後期高齢者医療保険事業
- ・地域包括ケアシステム運営事業
- ・オンライン診療推進業務

(2) 安心して子供を産み育てられる

環境の整備

子育て世代包括支援センター（なかとんネウボラ）を核に子育てに大切な支援メニューの充実と継続に、認定こども園とも連携して努めます。

子育てに頑張るお父さんやお母さんが、仕事と育児の両立ができ、家族円満となる新たな取り組みを目指します。



<取り組みとなる主な事務事業>

- ・妊産婦安心出産支援事業
- ・子育て世代包括支援センター（ネウボラ）事業
- ・児童虐待防止対策推進事業
- ・ファミリーサポートセンター事業
- ・次世代子ども医療費助成事業
- ・ひとり親家庭等医療給付事業
- ・子どもの居場所づくり事業
- ・いきいきふるさと推進事業

(3) 誰もが安心して暮らせる地域共生社会の実現

福祉施設利用されている方も在宅で暮らしている方も各種サービスの充実を継続します。高齢の皆さんが生活の知恵やさまざまな経験を次世代へ伝承する機会を構築し、これからのまちづくりに反映させていきます。



<取り組みとなる主な事務事業>

- ・老人クラブ連合会運営補助事業
- ・老人ホーム入所事業
- ・介護予防事業
- ・除雪サービス事業
- ・後期高齢者見舞い金助成事業
- ・病院患者送迎サービス事業
- ・地域支え合い・見守り活動推進事業
- ・在宅デイサービスセンター等運営事業
- ・居宅介護支援事業所運営費助成事業
- ・訪問介護サービスセンター運営事業
- ・社会福祉協議会運営補助事業

(4) 障がい支援と心のなやみサポートの推進

自立した生活を送ることができるよう、グループホームによる住環境と働く場の

確保や、肢体不自由の方が安心して生活ができるよう各種支援メニューの充実を推進します。



<取り組みとなる主な事務事業>

- ・障がい者総合支援給付事業
- ・障がい者福祉事業
- ・重度心身障害者医療給付事業
- ・地域生活支援事業
- ・障がい児生活支援事業

(5) 男女共同参画の推進

誰もが性別を意識することなく活躍でき、職場でも指導的地域にある人たちの性別に偏りが無い社会づくりを目指す。



<取り組みとなる主な事務事業>

- ・男女共同参画推進事業

2. いくつになっても健康でいつまでも元気でいられるまちづくり

(1) 生涯を通じた健康づくりの推進

町民の健康づくりのため、健康診断や各種健康教室へ参加してもらえる仕組みづくりの工夫、病気の早期発見と治療につながる生活習慣になるよう努めます。



<取り組みとなる主な事務事業>

- ・保健予防事業
- ・健康増進事務事業
- ・がん検診事業
- ・健康教育事業

- ・健康診査事業
- ・後期高齢者保健事業
- ・感染症予防事業
- ・予防接種事業
- ・歯科保健事業

3. 安全で快適な生活ができるまちづくり

(1) 町民生活の防犯と交通安全の推進

交通事故は町民一人ひとりの予防意識を高揚し、発生ゼロをめざします。

警察、地域生活安全協会等と連携し、町民の防犯活動の徹底と犯罪の未然防止に努めます。



<取り組みとなる主な事務事業>

- ・生活安全推進事業
- ・交通指導事業
- ・災害救助事業

(2) 心地よい住まい確保の推進

快適な住環境が提供できるよう公営住宅計画、空き家対策計画、住環境計画を基本に住まい支援を行います。

また、新築住宅建設を促進するため新たな区画整備と提供を継続します。



<取り組みとなる主な事務事業>

- ・住宅建設促進事業
- ・民間住宅施策の推進事業
- ・定住促進住宅整備事業
- ・公営住宅管理事業

(3) 安心な上下水道の推進

水道施設と下水道処理施設の効率的な

維持管理を行うとともに、設備更新を計画的に進めます。



<取り組みとなる主な事務事業>

- ・水道施設運営事業
- ・水道施設維持管理事業
- ・下水道施設運営事業
- ・下水道施設維持管理事業

(4) 安全な道路網整備

快適な住環境を維持するため効率的な道路維持管理に努め、夏も冬も安心して生活ができる道路網確保に努めます。



<取り組みとなる主な事務事業>

- ・道路維持補修事業
- ・除排雪事業
- ・道路台帳整備事務
- ・橋梁維持補修事業
- ・町道新設改良事業

(5) 地域交通確保の推進

J Rや都市間バスへの接続による都市への移動や高校通学バスなど、地域の実情に応じた移動ニーズを踏まえ、地域交通資源を最大限活用しながら地域の“足”を確保します。



<取り組みとなる主な事務事業>

- ・新たな生活交通路線検討事業
- ・地方バス路線維持対策事業
- ・天北線バス関連施設維持事業

- ・ライドシェア推進業務

(6) 災害や火災に強いまちづくりの推進

防災計画、ハザードマップにより、万一の災害に備えた災害に強いまちづくりの充実強化を進めます。

要援護者の避難計画を確立するとともに、町民個々のマイタイムライン作成の支援、町民が参加する防災訓練に福祉施設や企業等の参加を促進します。

ハザードマップに則した大規模な避難所の建設を検討します。

また、火災、救急、救助体制を向上させ、安心できる消防機能を確保します。



<取り組みとなる主な事務事業>

- ・防災対策事業
- ・防災訓練実施事業
- ・消防分団事務
- ・消防署管理事業
- ・消防学校派遣事業
- ・救急業務事業

環境 美しい自然を守り共生するまち

1. ふるさとの自然に誇りが持てるまちづくり

(1) 美しい自然を守り後世に伝える環境づくりの推進

SDGs推進のため環境保全と連動し、施策体系に17の目標を達成するため、まち全体で自分たちの日常にどのように関わるのかをしっかりと考える機会を確保して推進します。

豊かな自然環境となる森と川を大切に守り、町民が末長く誇りに思ってもらえるよう保全対策に取り組みます。

また自然災害から町民の生命と財産をしっかりと守るため頓別川等の河川改修に

努めます。

野生生物の適正な管理に努めるため、有害対策と特定外来生物の捕獲・防除を実施します。



<取り組みとなる主な事務事業>

- ・環境保全活動推進事業
- ・SDGs推進事業
- ・河川維持管理業務
- ・鳥獣対策推進業務
- ・環境審議会業務

(2) ふるさとの自然に誇りをもてる環境教育の推進

豊かな自然環境を活かした環境学習や教育活動に取り組みます。



<取り組みとなる主な事務事業>

- ・そらや自然学校事業
- ・森のこども園

(3) 廃棄物を減らし循環する環境づくりの推進

2050年よりも早く脱二酸化炭素となることを目指し、バイオマスなど新エネルギーの活用普及を行うとともに、寒冷地域において電気自動車の適切な運用が可能か検証を行います。

また、公共施設や民間の大規模施設における照明のLED化を促進します。

家庭から排出される廃棄物の減量化のため、分別収集の徹底と資源の再利用化となる取り組みに努めます。



<取り組みとなる主な事務事業>

- ・地球温暖化防止対策関連事業
- ・新エネルギー導入事業
- ・再生可能エネルギー等普及促進事業
- ・ゼロカーボン推進事業
- ・環境衛生事業

(4) 自然と調和した景観・街並づくり の推進

町内全域の景観向上など素敵な空間づくりを目指します。



<取り組みとなる主な事務事業>

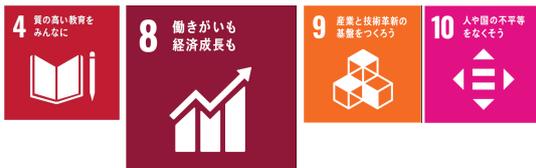
- ・廃屋除却推進事業
- ・屋外広告物関連業務
- ・旭台公園維持管理事業

自治体経営 持続可能なまちづくり

1. 町民が主役のまちづくり

(1) 地域振興の推進

第8期総合計画の推進管理と、ほかの分野によらない地域振興を図り、この10年間の魅力発信を目指します。



<取り組みとなる主な事務事業>

- ・総合開発委員会事業
- ・ふるさと応援寄附事業
- ・幌延深地層研究施設関連業務
- ・全国過疎地域自立促進連盟事業
- ・宗谷地域総合開発期成会事業
- ・大崎上島町交流推進事業

(2) 町民活動の活性化

町民が中心になって取り組む社会づくりができることで、困ったときの即時改

善が行える自治体制の構築と、これを担う人材育成を支援します。



<取り組みとなる主な事務事業>

- ・自治組織運営支援事業
- ・地域生活安全協会事務局業務
- ・地域づくり活動支援補助事業
- ・まちづくり団体支援事業
- ・地域青年交流の場設定事業
- ・集落支援事業

2. 創造的な自治体改革と健全な行政改革

(1) 行政改革（デジタル・トランスフォーメーション化）の推進

行政の人事管理の適正と、これによる組織体制の効率化を図り、町民サービスの向上を促進するため、人事評価及び業務マネジメントを適正に管理し、職員の育成に努めます。

テレワークを含む情報関連は、電子決裁やWi-Fiを活用した業務執行などデジタル社会に向けた環境の構築を進めます。

デジタル・トランスフォーメーションの構築を早急に進めて行く必要があり、必要なシステムの改修や導入を検討していきます。



<取り組みとなる主な事務事業>

- ・行政改革推進委員会事業
- ・総合行政システム及び機器更改事業
- ・人事管理事務事業
- ・北方領土復帰期成同盟事務
- ・戸籍事務事業
- ・国民年金事務事業

- ・ 役場庁舎維持管理事業
- ・ 行政評価システム運用事業
- ・ 財務会計管理事業
- ・ 統計調査業務
- ・ 広報・広聴活動業務

- ・ 選挙管理委員会事務
- ・ 参議院議員・衆議院議員選挙事務
- ・ 知事・道議会議員選挙事務
- ・ 町長・町議会議員選挙事務

(2) 持続可能で健全な財政運営

将来的な財政見直しをもちながら行政サービスを低下させることなく、コスト削減などの事務効率化に取り組み、収支均衡を図ります。



< 取り組みとなる主な事務事業 >

- ・ 財政管理事業
- ・ 基金事業
- ・ 町有建物・土地・財産売却事業
- ・ 出納室内庶務
- ・ 出納保管関連事務

(3) 広域連携の推進

これまで事務事業の広域連携を進めてきた取り組みは継続します。

また、効率的な行政運営に必要な手段として引き続きその実現できるか検討していきます。



< 取り組みとなる主な事務事業 >

- ・ 定住自立圏事業
- ・ 広域連携事業
- ・ 自動車教習事業

その他

(1) 選挙管理委員会

正確な選挙事務の遂行、感染防止対策に考慮した投票所設営の検討します。

(2) 議会・監査

議会事務局として質の高いサポートを行います。

監査事務に必要な資料の収集並びに伝票等による事前調査をより迅速に行うよう努めます。

- ・ 議会事務
- ・ 監査委員事務

(3) 公平委員会

広域設置による公平委員会を維持します。

- ・ 公平委員会事務